

アイシン精機(株)登別事業所は、グループ全体の従業員が8万人を超える世界的な自動車部品メーカーである同社のエネルギー機器関連部門の一翼を担っています。

「主に光通信用機器などの冷却に使われる、ペルチエという部品を製作しています。ペルチエは緻密な温度調整によって、私たちの暮らしに欠かすことができないインターネットの接続を高速化するための重要な役割を果たしています」と話すのは、所長の平田幸彦さん。同事業所は早くからペルチエ実用化に向けての研究に取り組み、多品種少



発見のぼりべつの星!

企業編⑳ アイシン精機(株)

量生産を続け、今では光通信用途での国内シェア第2位を誇るまでに成長しています。

同事業所の製品は、最少サイズが0.3ミリの四方と微小であるため機械では組み立てが困難で、製造には繊細な手仕事が必要とせまれません。製造現場では地元出身の女性職員が多く活躍し、製品の信頼性と技術を高める努力を日々重ねています。

「何より人を大切に考えています。職員が安全安心に、そして楽しく働くことができるところが私の最大の役目です」と、平田さんは話してくれました。

【沿革】
 平成3年 創業
 平成13年 アイシン精機株式会社登別事業所設立

【アイシン精機株式会社】
 所在地 千歳町2丁目6-11
 電話番号 ⑧2077
 事業内容 冷却用電子部品の製造・販売など

不用品ダイヤル市

申し込み・問い合わせは
 登別消費者協会 (☎858307)

火～金曜日(祝日を除く)10時～16時

※12月27日(出)から1月6日(入)までは、年末年始のため休みます。
 ※申し込みは、市内に居住する方が対象で、登録期間は6カ月です。継続希望の場合は、再度申し込みください。

▶登録できないもの

衣類、食料品、貴金属、美術品などの高価なもの、自動車、バイク、船、傷みの激しいものやあつせん品としてふさわしくないもの

ゆずります(売ります)

- 学習机(木製) ●折り畳み式卓テーブル(木製・茶色) ●座卓用藤テーブル(直径88センチ・ガラス張り) ●日本人形(ガラスケース入り)(高さ50センチ・高さ40センチ)各1体 ●ジュースー ●鏡台(引き出し付き・110×65×35センチ) ●テレビ台(50×41×115センチ) ●(灰色・100×42×40センチ) ●スチール製脚立(23×47×88センチ) ●学生用革靴(28センチ) ●布製陸上競技用靴(26.5センチ) ●電子ピアノ ●カメラ(フラッシュ付き) ●大正琴 ●革靴(黒色・24.5センチ・3足)、(黒色・26.5センチ)、(茶色・26.5センチ) ●囲碁セット ●将棋セット ●スピーカー(39×27×26センチ) ●歩くスキーセット(青・靴25センチ)
- ウオーキングシューズ(茶色・26.5センチ) ●円筒用はしご(取り付けセット・184センチ) ●車のチェーン(65～13センチ) ●ムード音楽レコード(12枚セット) ●グレンミラーレコード(1枚) ●壁かけ鏡(だ円形・80×50センチ) ●ゴルフセット(男子用) ●婦人用自転車 ●地球儀(直径32～33センチ) ●健康器具(室内自転車) ●スチール製ストーブガード(87×62×65センチ) ●白雪幼稚園男子制服(冬用・夏用) 各一式

ゆずってください(買います)

- クラシック音楽オルゴール ●キーボード ●バイオリン(デッサン用)
- 男子用靴(黒、21・22センチ) ●男子用ワイシャツとネクタイ(身長120センチ) ●婦人用自転車(26センチ) ●鉄瓶 ●灯油タンク(50リットル入)
- 白菊幼稚園制服(男子用スボン120センチ) ●切手アルバム

ほん

今月の新着図書

市立図書館 ☎854324

物語のおわり



萩 かなえ 著

妊娠3カ月でがんが発覚した智子、娘のアメリカ行きを反対する木水…。迷いを抱えた人々が向かった先は、北海道。旅の途中で手渡されたのは、未完の小説だった。

◇にじいろガーデン

小川 糸 著

◇億男

川村 元気 著

◇月は誰のもの

宇江佐真理 著

=こどものほん=

鹿の王(上・下)



上橋菜穂子 著

故郷を守るため、戦いを繰り返した戦士団の頭ヴァンは岩塩鉱にとらわれていた。ある夜、不思議な犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生する。その隙に逃げ出したヴァンは幼子を拾い、育てるが…。

◇おはなきょうしつ

さいとうしほ 作・絵

◇希望の牧場

森 絵都 作 吉田尚令 絵

◇かえるの竹取ものがたり

依 万智文 斎藤隆夫 絵

※市立図書館では、毎月購入している本の全リストを差し上げています。ご利用ください。

地域だより

町内会のいきいき実践活動を紹介

13町内会役員が親睦を深める

幌別西地区連合町内会では、地域のまちづくりに関する情報交換と交流を深める親睦会を10年以上続けており、ことしは、カルルス町の旅館で開催し、約70人が参加しました。

参加した方は、町内会活動での悩みや町内会での自慢の活動も披露し、活動を行う上で参考になる意見交換の場となりました。

幌別西地区連合町内会

会長 三浦 忠夫



地域の絆を深める文化祭

11月2日(日)、鉄南ふれあいセンターで、幌別鉄南地区連合町内会(8単位町内会)の第10回市民文化祭が開かれました。

パッチワークの展示やジェルキャンドル作りの体験コーナーなどが設けられたほか、ステージ部門では、幌別東小学校の児童によるマーチの演奏や大正琴演奏、コーラス演奏の発表があり、楽しい文化祭となりました。

幌別鉄南地区連合町内会

婦人部長 対馬 敬子



ふれあい、助け合いの地域づくり

高齢者の方33人を招き、会食を行いました。

地域包括支援センター「けいあい」の協力で、音楽療法士による歌唱指導や太鼓を叩くりズム体操など、体を動かした運動を行いました。

昼食は福祉婦人部手作りの料理を味わい、おなかも心も満たされ、地域との触れ合いを大切にしたい楽しい会となりました。

美園南町内会

会長 岸 正治

町内会の広場で『いい汗・いい笑顔』

今年で23回目を迎える秋のレクリエーションに、約100人が参加しました。

4チームに分かれ、ペットボトルに色水を運ぶリレーでは、子どもが真剣にコップを持って競技に参加する姿に大きな歓声が上がっていました。

また、秋空の下、焼きそばや豚汁を食べ、楽しい交流と親睦を深めた行事となりました。

片倉町内会

会長 佐々木 勇司

